

畜産部門の伸び顕著

——農林水産業生産指数の動き——

この農林水産業生産指数は、本県の農林水産業の生産量の年次別動きについて、昭和45年の生産量を基準とし、昭和41年から46年までの6年間の生産量を指数化し、時系列に生産の動向を明らかにしたものである。

1 農林水産業総合生産指数

農林水産業の総合指数をみると、昭和42年をピークとして、10数年間続いた増加は、昭和43年、44年の2年間で4.5%減少した。昭和45年に入り、3.0%上向を示したが、昭和46年は、わずかながら下向している。

総生産量に占める各部門別割合は、農業88.7%、林業4.5%、水産業6.8%で、本県の農林水産業は、農業部門の動向によって、大きく左右されている。

農業部門生産は、対前年比によれば、昭和43年は0.8%、44年は3.4%、46年は0.8%減少を示したが、昭和45年には1.7%の増加が見られる。また、米生産は年々減少し、野菜と畜産の生産は伸びている。

林業部門生産は、ウェイトの高い素材の需要増大にもかかわらず、昭和41年から45年までに17.0%減少したが、46年になって針葉樹等の生産増により2.1%増加している。

水産業部門生産は、起伏の激しい増減を示しながら、昭和41年から46年までに19.1%減少している。

2 農業総合

農業総合指数は、ウェイトの高い耕種生産の増減により左右されており、昭和42年から46年までに2.8%減少している。

農業総合の部門別割合は、耕種70.1%、畜産27.6%、養蚕2.3%になっている。

耕種生産は、野菜の伸びにもかかわらず、ウェイトの高い米の生産調整による減少のため、昭和42年から46年までに15.8%減少している。

養蚕は、昭和40年以後安定した上向を示し、45年にやや減少したが、46年には再び伸びを示した。昭和41年から46年までに36.0%増加している。

畜産は、昭和41年から46年までに34.5%増加し、特に昭和44年、45年、46年の3年間で26.5%増加を示している。

(1) 耕種部門

耕種生産量のうち、部門別割合は、米が48.4%、野菜27.8%、工芸作物6.5%、以下麦類、果実、いも類、豆類の順になり、米の占める割合は非常に大きい。

ア 米

米の生産量は、昭和44年以後は、年々減少し、46年は前年に比し、9.8%減少している。

イ 麦類

麦類の生産は、年々減少し、昭和41年から46年までに

52.6%減少している。

ウ 豆類

昭和41年から46年までに16.8%減少しているが、42年以後は、やや安定した生産を示している。

エ いも類

昭和41年から45年までに、60.5%減少しているが、46年は、対前年比6.3%の増加を示している。これは、いも類の中で約7割のウェイトを占めるかんしょの増加によるものである。

オ 野菜

野菜の生産は、需要に応じ、ここ数年安定した伸びを示し、昭和41年から46年までに26.8%増加している。

基準時（昭和45年）に比べて生産量が増加している品目は、とまと、ごぼう、だいこん、ねぎ、みつば、なす、さといも、かぼちゃ、いちご、まくわうり、やまのいも、れんこん、にんじん等である。逆に、減少している品目は、きゅうり、結球はくさい、すいか、とうもろこし（未成熟）、きゃべつ、ほうれんそう、ピーマン等である。

また、まくわうり、れんこん、かぼちゃ、なす、みつば等の生産は、昭和44年から46年までに急速な伸びを示している。

カ 果実

果実の生産は、ここ数年横ばい状態であるが、くりについては、昭和41年から46年までに70.1%の大幅な伸びを示している。これは、他の果実に比べ、投下労働量が少なくすみ、粗放的経営ができるために作付面積が増加したのが原因と思われる。

ぶどうについては、昭和42年以後年々減少の傾向にあり、46年までに50.0%減少している。

キ 工芸作物

昭和42年をピークに年々減少し、46年までに45.6%減少している。工芸作物の中で9割以上のウェイトを占めるたばこは、同期間で50.0%と半減している。

(2) 養蚕部門

まゆの生産は、需要の増大に伴い、昭和41年から46年までに36.0%の増加を示している。昭和45年には生産量が減少したのは、桑の成育不良や、霜害の発生等により、蚕児生理障害が発生したためと思われる。

(3) 畜産部門

畜産の生産は、昭和41年から43年までは横ばいであったが、昭和43年から46年までに39.5%の大幅な伸びを示している。

畜産の生産量の6割のウェイトを占める豚は、昭和44年以後上向に転じ、45年、46年の2年間で、41.3%の増加となっている。

乳用牛、肉用牛は、一年毎の増減を示していたが、乳

用牛については、44年以後減少を続けている。鶏卵、生乳、プロイラーは、年々上向を示し、特にプロイラーの伸びは著しい。

3 林業総合

林業総合指数は、林業総合の約9割のウェイトを占める素材の増減に左右されており、昭和41年から46年までに15.3%減少している。

特殊林産物においては、昭和46年は、41年に比べ、約3倍の伸びを示している。

また、この林業総合は、毎年全国の林業総合を下回っていたが、昭和46年になって全国指数を上回った。

林業総合の部門別割合は、素材89.9%、竹材1.3%、木炭1.4%、特殊林産物7.4%になっている。

(1) 素材

素材の動向は、素材の中で9割以上のウェイトを占める針葉樹に左右され、針葉樹の生産指数は、昭和41年から44年までに21.5%の減少を示し、その後、昭和46年までは、やや横ばいとなっている。

広葉樹の生産は、昭和43年をピークに減少に転じ、46年は、基準時に比べ、31.4%減少している。

個別に見ると、あかまつ・くろまつ、すぎは、昭和41年以來減少傾向にあったが、46年になって、あかまつ・くろまつは、3.7%、すぎは、7.6%増加している。ひのきについては、昭和44年から上向を示していたが、昭和46年になって、わずかながら(0.9%)減少している。

(2) 竹材

竹材は、昭和42年から45年までに、101.6%著増したが、46年は、基準時に比べ、23.4%減少している。

(3) 木炭

黒炭は、昭和41年から46年までに、74.5%減少している。これは、消費量の減退・生産コストの高騰等によるものと思われる。

(4) 特殊林産物

生しいたけ、なめこにも急速な伸びを示し、昭和41年から46年までに、193.2%の大幅な増加を示している。これは、需要が伸びていることや、管理が比較的容易であること等から、栽培意欲が高まっているものと思われる。

4 水産業総合

水産業生産は、その時の自然条件によって、大きく左右され、昭和41年から46年までに、19.1%減少している。

部門別割合は、海面漁業86.3%、内水面漁業13.7%となっている。

(1) 海面漁業

海面漁業は、昭和41年以後1年毎に増減が見られる。これは、海面漁業の中で、2割以上のウェイトを占めるさば類の漁、不漁が一因となっている。また、昭和46年は、基準時に比べ8.0%減少している。

貝類生産のウェイトは低いが、昭和41年から44年までに、362.3%の大幅な増加を示したあと、45年、46年の2年間で72.5%減少し、起伏差が大きい。

(2) 内水面漁業

内水面漁業は、昭和41年から44年までに、6.2%の増加を見せていたが、その後、46年までに、54.8%増加している。これは、えびの漁獲高と養殖こいの増産によるものと思われる。

生産指数の動き(1) (昭和45年=100.0)

年次	農 業 総 計	業 合 計	耕 種 合 計	耕 種						養 蚕	畜 産
				米	麦	豆 類	いも類	野 菜	果 実		
ウェイト	10,000	7,011	3,391	454	244	257	1,951	258	456	228	2,761
昭和41年	95.9	101.7	92.2	154.5	115.6	253.2	82.5	76.6	123.1	78.6	83.7
42	101.9	111.3	105.8	162.4	100.3	217.3	90.2	86.7	152.0	91.8	81.0
43	101.5	110.1	109.4	151.9	97.1	165.0	95.8	85.5	124.5	98.7	80.7
44	97.6	101.7	101.2	123.2	99.7	117.8	94.9	95.8	109.0	104.0	89.0
45	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
46	99.0	93.7	90.2	73.2	96.2	106.3	104.6	98.3	82.7	106.9	112.6

生産指数の動き(2) (昭和45年=100.0)

年次	林 業 総 計	業 合 計	素 材	竹 材	木 炭	特 殊 林 産 物	水 産 業 合 計	海 面 漁 業	内 水 面 漁 業
昭和41年	120.5	126.2	73.0	224.4	39.6	117.8	122.0	70.6	
42	117.6	121.1	49.6	196.9	72.3	88.6	90.7	75.8	
43	106.8	108.4	63.3	174.7	83.5	94.6	97.8	74.4	
44	100.3	100.6	91.1	120.7	94.7	88.7	90.9	75.0	
45	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
46	102.1	102.1	76.6	57.2	116.1	95.3	92.0	116.1	

(県統計課農林統計係)